

2022年度 戦略施策マネジメントシート【2021年度実績評価】 作成: 2022年 6月 15日

施策番号 3-1	施策名 安心子育てプロジェクト	基本的方向	誰もがいきいきと安心して暮らせる地域をつくる			
		基本目標	安心して子育てできるまちづくり			
	主管課	子育て支援課	課長名	佐々木 雅之	内線	168
	施策関係課					

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果	
妊娠・出産、子育てに関する悩み・不安の解消を図り、安心して子育てできる環境づくりを進める。また、経済的理由などにより、子どもを産み育てることを断念することのないよう支援の充実に努める		子ども	出生率向上のため、阻害要因を取り除く取り組みを進める				若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
重要業績評価指標(KPI)	説明	単位	策定時(基準値)	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2024年度(目標)	
① 安心して子育てができる環境であると思う町民の割合	住民意識調査	%	96.5	89.0	88.6		90.0	
② 不妊治療費助成件数	実績数	件	15	14	7		15	
③ 保育所待機児童数	実績数	人	0	0	0		0	
評価指標設定の考え方	①は、町民を対象とした住民意識調査の結果を成果指標として設定 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ②は、妊娠・出産を望む者に、不妊治療費を助成した件数を成果指標に設定 ③は、保育所待機児童ゼロを継続するため、成果指標に設定							

2. 施策の事業費

	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算
施策事業費(千円)	758,697	775,224	
人工数(業務量)	3,5069	3,1910	

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2021年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	・成果指標①は微減(同水準) ・成果指標②は減少(道補助金の見直し(改善)による町補助対象の減少) ・成果指標③は施設の協力を得て0を継続 令和3年度からの新たな取り組みもあるが、成果指標ベースでは維持
②2024年度の目標値達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	・成果指標①は目標値近くの高水準を維持 ・成果指標②は令和4年度からの対象拡大による成果向上を期待 ・成果指標③は0継続を目指す
(2) 施策の成果評価に対する第2期芽室町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	妊婦相談・支援事業 子育て世代包括支援センター運営事業 保育事業 子どもセンター運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・少子化が進行する中で、妊娠期から子育て期まで、保護者に寄り添ったきめ細かい相談体制の強化と、利用者目線の支援体制の充実に図った ・保護者が安心して育児と就労の両立が図れるよう、保育施設及び子どもセンター等、保育環境の充実に図り、待機児童0も継続している ・国や道の助成制度(幼児教育保育無償化・医療費助成等)に町独自支援策をプラスし、子育て世帯の経済的負担軽減を図った		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(総合戦略策定時との比較)

担当課 評価	以前から実施してきた取り組みの対象拡大や利用者目線の見直しに加え、新たな取り組みを毎年度のように実施してきており、サービスの充実が図られている。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	

A: 実現した B: (総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C: (総合戦略策定時と比較して)前進した
D: (総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (総合戦略策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化や核家族化の進行により、適切なサポートを受けられない不安や養育に悩みを抱える保護者が増加 ・保育士専門職確保の困難性が常態化してきている <p>《今後の予測》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯の精神的・経済的負担の軽減→国・道の動向を注視しながら、町独自支援策の検討 ・良質で安全な保育の継続実施に向けた対策の必要性
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育:令和4年度内の町内整備を目指すとして議会へ説明 ・議会所管委員会において、保育事故の再発防止、保育士確保を含めた保育環境向上に向けた実施主体としての取り組みについて意見がある

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> ●保育事業の充実 <p>良質で安全な保育の提供、保育環境向上に向けた保育実施主体としての具体的な取り組み 町内における病児保育提供体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもセンターの安定的運営 <p>民間活力活用を含め、質的向上と将来にわたる安定運営を目指した体制の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子育て世帯の経済的負担の軽減 <p>子ども医療費の対象拡大検討(高校生までの拡大)</p>

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価と同様に、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	<p>A: 実現した</p> <p>B: (総合戦略策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (総合戦略策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した</p> <p>E: (総合戦略策定時と比較して)後退した</p>					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	担当課評価、経営戦略会議評価と同様に、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見		<p>A: 実現した</p> <p>B: (総合戦略策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (総合戦略策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した</p> <p>E: (総合戦略策定時と比較して)後退した</p>					